

# 第 4 回 札幌市 避難場所 基本計画 検討委員会 概要

## 1 日時

平成 24 年 11 月 28 日（水） 10:00～12:00

## 2 場所

STV 北 2 条ビル（札幌市中央区北 2 条西 2 丁目） 6 階 1～3 号会議室

## 3 出席委員

天野委員、安藤委員、一瀬委員、鎌田委員、佐々木委員、定池委員、田畑委員、永田委員、中村委員、成田委員、本田委員、森本委員、矢橋委員（欠席者なし）

## 4 主な会議内容

計画原案について

## 5 委員からの主な意見

- ・ 地図に小中学校の分布を示したものは、計画書に入らないのはもったいないので次の段階としてうまく活用することができたらいいと感じた。
- ・ 要援護者の方々を安全に、支援のしやすい場所で避難先の確保をすることがきちんとできていれば、いいと思う。
- ・ 年齢、性別、障がいの有無などによって異なる個人の備蓄品について、必要な情報を簡単に手に入れられればいいと感じました。
- ・ 貴重な会議に加えていただき、この委員会をきっかけにして、身近な人に発信していきたいと思います。
- ・ 物資を保管していたところがやられてしまったら全くなくなってしまうので、分散しておく必要があると思う。
- ・ 学校としても停電がおきればばたばたするが、そのうち一つに避難所としての準備も入れることを意識することができれば後手に回らないと思った。
- ・ これからは、地域と避難場所の運営の方法をどうやって確立していくかという勉強をしていかなければならないと思う。
- ・ 運営に対する対応力及び地域防災力の向上というところが核になると思いますので、魂が抜けないようにいかに運用するからが勝負だと思います。

- ・ バスターミナルなどの人が集まる施設に地図を張ると目につきやすいので  
そういうアナログ的な方法も考えてもらいたい。
- ・ 学校の車いすトイレや洋式トイレの整備状況をつけていただけると、とてもありがたい。
- ・ 要援護、福祉避難場所がこの計画に入っていることをうれしく思います。  
障がい別団体でも自分たちでできることは用意しようと話し合っています。
- ・ 東日本大震災、特に福島の場合には、ラジオのあり方が本当に見直されました。災害直後はラジオが非常に活躍をしました。